



明日を信じて

新潟市立潟東小学校 平成30年9月21日発行 第5号
「明日（あす）を信じて」は校歌のサブタイトルです

勉強は不幸せにならないためにある

校長 篠宮 敏明

夏休みが明けた8月31日の全校集会で、「学校ものかたり」（日向野 一生 著、第一公報社）の文章を引用しながら、「なぜ勉強をするのだろうか」という話をしました。以下はその概要です。

国語は人のおつきあいのためにある…手紙を書いたりSNSをしたり、気持ちが伝わるように話したりするには、国語の勉強をしなければなりません。**算数は買い物でおつりをまちがえないためにある**…計算ができないと代金もわからないし、おつりをまちがえて損をしてしまうかもしれません。「2割引セール」というときには、割合の勉強が必要です。**理科は新しく便利なものを作るためにある**…理科で勉強する自然のきまりがわかっていると、身近な道具や電気製品を正しく使えます。そのきまりを使って、発明ができるかもしれません。**社会科は同じ過ちを犯さないためにある**…人間は昔から様々な失敗をして、それを反省することを繰り返してきました。日本や世界のこと、歴史を学び、平和な世の中を作っていかなければなりません。**音楽は笑顔のためにある**…歌を唄い楽器を奏でると、心が豊かになります。大好きな曲は自分自身への応援歌です。音楽を一生の友達にしたいものです。

このほかの教科については書いてありませんでしたが、でもこんなまとめがありました。**勉強は不幸せにならないためにある**…勉強はわからないことをわかるように、できないことをできるようにすることです。難しくても、すぐにわからなくても、不幸せにならないために、幸せになるために、勉強を続けていかなければなりません。

みなさんは大人になったら、どんな仕事をしたいか考えていますか。その仕事に就くためにどんな勉強をすればいいか知っていますか。どんな仕事をするにも勉強が必要です。勉強せずにやれる仕事はありません。そして、勉強を積み重ねることで、チャレンジできる仕事が増えていきます。

わからないことをわかるようにするために、できないことをできるようにするために、不幸せにならないために、幸せになるために、自分の夢を実現するために、勉強を続けましょう。それにはまず、一時間一時間の授業です。夏休みの成果を生かし、前期のまとめに取り組んでください。

潟東小学校では、子どもたちの夢を育み、夢を実現するために、教職員一人一人が全力で教育活動を進めています。しかしまだ効果が及ばず、様々な問題を抱えている子、意欲が萎みかけている子もいます。すべての子どもたちの幸せのために、保護者の皆様と連携し、地域の皆様のお力もお借りしながら、問題を解決し、意欲をふくらませ、夢の実現を支援していきたいと考えています。

98日間の前期が10月5日の終業式で終わります。まだ肌寒い4月から秋の深まりを感じる10月までの半年間、子どもたちは自分の目標に向かって努力を続け、「笑顔」を輝かせてきました。終業式の日にお渡しする通知表「伸びゆく子」はお子さんの努力の軌跡です。ご覧いただき、あたたかい励ましのことばをかけていただきたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様からは、「連携」と「共育」そして「協働」にお力添えをいただき、子どもたちの「笑顔」を輝かせていただきました。皆様のご厚情に心から感謝申し上げますとともに、後期も相変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。